

2024年6月14日

各位

Chordia Therapeutics 株式会社

<https://www.chorditherapeutics.com>

東京証券取引所グロース市場への上場に関するお知らせ

Chordia Therapeutics 株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：三宅洋）は、2024年6月14日に東京証券取引所グロース市場（証券コード：190A）へ新規上場いたしました。ここに謹んで報告させていただくとともに、これまで当社を支えてくださったすべてのステークホルダーの皆様のご支援、ご高配に心より御礼申し上げます。



（写真左から：社外取締役 嶋内明彦氏・石井幸佑氏、代表取締役 三宅洋、社外取締役 西方ゆかり氏・橋本阿友子氏）

当社は、がん領域の研究開発に特化したバイオベンチャー企業です。長年に渡って創薬に携わってきたプロフェッショナルたちが、研究開発の各分野における経験と専門スキルを活かしながら、がん治療の明日を担う新薬の開発に日々取り組んでいます。

治療薬 CLK 阻害薬 CTX-712 は、スプライシングを変化させることによってがん細胞を死滅させるこれまでにないまったく新しい作用機序を有しており、日本国内第1相臨床試験で複数の奏効が確認できております。

このたびの東証グロース市場への上場を機に、株式公開企業としての責任をより一層自覚し、社員一丸となって企業価値の向上に取り組み、日本発、世界初の抗がん薬を一日でも早く患者様のもとに届けるために、日々邁進して参ります。

上場に関する詳細につきましては、[日本取引所グループのウェブサイト「新規上場会社情報」](#)及び[当社コーポレートサイトの「投資家情報」](#)をご覧ください。

Chordia Therapeutics 株式会社について

当社は、臨床開発品を有するがん領域に特化した研究開発型バイオベンチャーであり、神奈川県藤沢市に拠点を有します。

当社のリードプログラムである CLK 阻害薬 CTX-712 は日本において第1相臨床試験、米国において第1／2相試験を実施中です。CTX-712 はがんの持つ脆弱性を標的としており、有効な治療薬になることが期待されています。当社は、CTX-712 に加え、特定の異常を有するがんに効果が期待される CDK12 阻害薬 CTX-439、GCN2 阻害薬など複数のパイプラインの研究開発を行っています。

本リリースに関するお問い合わせ先
Chordia Therapeutics 株式会社
IR 担当 溝部
ir@chorditherapeutics.com